

## ☆第25回 世界スカウトジャンボリーへ派遣



大洲南中学校 2年  
井上 和希 さん

ボーイスカウト愛媛県連盟大洲第1団に所属する井上さんは、8月1日(火)から12日間にわたって韓国で開催されたボーイスカウトの世界大会「世界スカウトジャンボリー」へ日本派遣団の一員として参加しました。自分を好奇心旺盛な性格だと語る井上さんは、小学校4年生の時に友達に誘われて入団し、キャンプやクラブ活動などを通してさまざまな体験ができるボーイスカウトにすぐに夢中になったそうです。

世界150以上の国と地域から4万人以上が集う世界大会では、グループに分かれて多くの国の人々と毎日の生活と活動を共にしました。英語は苦手科目だと苦笑いする井上さんですが、知り合いがいなくても、身振り手振りを交えて積極的に話かけて交流を深めることができたそうで、「この積極性も、ボーイスカウトでの活動の中で自分から行動することを心がけて身についた」とのこと。今後はもっと多くの経験を積んでいき、それをカブ(年少のスカウト)の子供たちに伝えていくことが目標だそうです。



海外のスカウト仲間たちと

## HighSchool NOW

## Vol.82 長浜高等学校

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

長浜高校の重松そらです。10月8日(日)に行われた「LOCAL FISH CANグランプリ」全国大会に、2年生の北田さん、1年生の辻さんと「挑戦」してきました。というのも、私はこの大会に参加するのは3回目で、一昨年はハモ、昨年と今年は「ブリの中落ち」をテーマに缶詰製作を行っています。

愛媛県ではブリの生産が盛んです。ブリを加工する際に身の部分は出荷しますが、中骨を含む骨の多い部位である中落ちは、食用としては利用されていません。これを缶詰にすることで、骨ごと簡単に、おいしく活用できると考えました。昨年は中骨が硬いと指摘を受けたので、今年は中骨を軟らかくするのを目標に酢を加えるなど、試行錯誤を行いました。

完成した缶詰は審査員のみなさんに好評で「骨が軟らかく感動」と言ってもらえました。結果は念願の最優秀賞です。中落ちを提供して下さっている株式会社ヨンキュウ、缶詰会社の株式会社コバヤのみなさんの遊び心、情熱に触れながら、共に作ったこの缶詰。これからも一般販売に向けて改良を続けていきます。



左から辻さん、重松さん、北田さん



一回は帝京第五高等学校からです。一

きらめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急

## 受章おめでとうございます

高齢者叙勲

### 瑞宝双光章を受章されたみなさん



元大洲市立肱東中学校長  
菊池 久典 さん  
ひさのり  
(平野町野田)



元大洲市立大洲南中学校長  
辻 喜千治 さん  
きちはる  
(大洲)



元肱川町立中野小学校長  
林 光雄 さん  
みつお  
(肱川町予子林)



元大洲市立大洲北中学校長  
山田 幸一 さん  
こういち  
(西大洲)



### 銀河へ届け みんなの思い

10月28日(土)、新谷町の矢落川堤防沿いでLEDランタンイベント「銀河灯夜」が開催されました。来場者は、和太鼓やよさこいなどのステージイベントを楽しんだ後、行燈と子供たちが絵付けしたろうそく立ての灯りに照らされた道を歩いてメインイベント会場へ移動。2月に逝去した松本零士さんへのメッセージや願い事など、それぞれの思いを書いたランタンを空へ放ちました。

218 (にいや) 個のランタンと大きな月の光が、幻想的な光景を生み出していました。



### 音と光でいつもと違う城下町を散策

愛媛ナイトウォーク第1弾として、「迂回ラジオ2023 in大洲」が、11月3日(金・祝)から始まりました。迂回ラジオは、音声ARアプリによる無料の音声ガイドを聴きながら大洲城下町(肱南地区)に点在するプロジェクションマッピングを巡る催しで、参加者がそれぞれにスマートフォンとイヤホンを使うため、好きな日に好きなペースで散策することができ、また、騒音や混雑などの観光公害を避けることが期待できます。このイベントは1月上旬まで催される予定です。



## 古くて新しい大洲の魅力が詰まった2日間

大洲の秋の恒例行事「大洲まつり」が11月2日(木)と3日(金・祝)の2日間で行われました。

2日の八幡神社のお成りでは、約230人の行列がそれぞれ昔ながらの衣装を身にまとい、およそ7kmを練り歩きました。

3日には緑地公園周辺でおまつり村が開かれ、模擬店や郷土芸能、遊びコーナーなどに子供たちをはじめ多くの人が集いにぎわいました。また、古民家の並ぶ肱南地区では、おおず浪漫祭が昼の部と夜の部に分けて開催され、訪れた人はこだわりの出店や昼夜で変わる町並みの雰囲気を楽しんでいました。



## 地域おこし協力隊の挑戦！チャレンジ横丁なんよ

11月5日(日)、おおず赤煉瓦館に南予地域の地域おこし協力隊員が集まり、「チャレンジ横丁なんよ」を開催しました。隊員の定住に向けたなりわい作りのため、自ら開発・生産した物品の販売や活動のPRを行うイベントで、ミカンやジビエのソーセージ、クラフトビールなど自慢の品が並びました。訪れた人は、隊員から商品の説明を受けたり活動の内容を聞いたりしながら買い物を楽しんでいました。会場では協力隊員の人気投票も行われ、協力隊の認知度向上につながるイベントとなりました。



## 大洲市土地改良区合併予備契約調印式

「大洲市土地改良区」「長浜町土地改良区」「肱川町土地改良区」「河辺国営開発土地改良区」が、令和6年3月をめどに合併することとなり、11月6日(月)に市役所で合併予備契約調印式を行いました。

これまでは4つの土地改良区がそれぞれに農地の整備や改良、維持管理などに努めてきましたが、合併により組織体制の充実を図り、効率的な組織運営と適正な事業実施により、農家負担の軽減や維持管理の合理化を推進していくこととなります。

## 仲良くたくさん読んでね

幼少期から本に慣れ親しんで、豊かな子供の成長の一助にしておうと、国際ソロプチミスト大洲による保育所図書贈呈式が11月9日(木)に行われました。27年目となる今年は、市内3カ所の保育施設に寄贈され、大洲子ども園では、たくさんの真新しい絵本を前に子供たちは大喜び。次々と手に取って仲良く読んでいました。

会長の野中恵美子さんによると「子供たちと触れ合う大切な機会でもあり、私たちが力を入れている事業のひとつ。今後も長く続けていきたい」とのことでした。



## 長高水族館がオンラインで楽しめる

長高水族館を離れていても楽しめる新イベント「オンライン個別水族館」の初回が11月9日(木)に開催されました。今回の訪問者は県外の特別支援学校に通う「しょうちゃん」と呼ばれる男の子とそのお母さん。

脳性まひにより幼い頃から外出が難しかったしょうちゃんですが、この日は画面越しに生徒による魚の紹介やまちショーを楽しむことができ、二人で大喜び。

メンバーの大西寅ノ介さん(1年)は「オンラインの需要は広がると思う。スキルアップしていきたい」と語りました。



## 神南山を自転車で登りきれ！

神南山を舞台にしたサイクリングイベント「神南山アドベンチャー hillclimb2023」が11月12日(日)に開催されました。「愛媛サイクリングの日」に合わせて開催されるこのイベントは今回で4回目を迎え、標高654mの神南山林道をコースとして自転車で駆け上るタイムトライアルには約20名が挑戦。参加者たちは朝霧の残る山道に息を切らしながらペダルを漕いでいました。レースの後は、新谷公民館で地元産の焼きシイタケやカレーライスが振る舞われ、参加者たちは疲れた体を癒しながら交流を深めました。



## 市民のつどいを開催しました

福祉と健康づくりを推進する「市民のつどい」を11月12日(日)に総合福祉センターで開催しました。式典の後、会場では福祉団体などによるバザーのほか、健康相談コーナーや薬膳料理の試食コーナー(写真)などたくさんの人でにぎわいました。

午後からは落語家の林家三平さんによる「笑い与健康」と題した記念講演と落語会を行い、聴講に訪れた人たちの笑い声が会場に広がっていました。



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急



## 帰ってきた肱川ふれあいまつり

11月19日(日)、4年ぶりの肱川ふれあいまつりが肱川町の風のり広場で開催され、およそ2,700人が来場しました。地元団体などによるブースが多数並び、杵つき餅やアユの塩焼きの実演販売も行われ、里山の秋の味覚に来場者は舌鼓を打っていました。

やまとさかしめかぐら  
山鳥坂鎮縄神楽や大道芸、ものまねショーなどのステージイベント、餅まき、お楽しみ抽選会なども催され、会場は笑顔と声援で盛り上がりました。



## 150年の伝統を胸に 育て「いころの子」

明治7年に南分教場として生まれた平野小学校の創立150周年記念式典が、11月19日(日)に行われました。子供たちや教職員ら関係者約300人が「祝150 ひらの小」の人文字を作ったの記念撮影と式典の後、卒業生のアナウンサー武内陶子さんが講演を行い、「平野小で学んだ『いころ\*』の心がいつも自分の中にある」とふるさとの思い出も織り込んだ話に、参加者はうなずきながら耳を傾けていました。

※燃えさかる火のような強い意志、力、元気、やる気を意味する造語。「いころの子」は平野小の目指す児童像。



## いろは丸の復元模型を寄贈いただきました

江戸時代末期に大洲藩が所有し、衝突事故により船の浦沖で沈没した「いろは丸」を忠実に復元した1/50模型が大洲市に寄贈され、11月20日(月)に模型の製作者である東京都市大学客員教授の草柳俊二さん(写真)が展示に先立って市立博物館を訪れました。船の模型製作が趣味の草柳さんは、英国の博物館から図面を手に入れ、1年半をかけて完成させたそうで、今回の寄贈について「子供たちが自分の住んでいる地域の歴史を知る資料の一つとして役に立てれば」と理由を語ってくれました。



## にっぽん丸が8年ぶりに来航

11月22日(水)、拓海岸壁ににっぽん丸(22,472t)が着岸しました。にっぽん丸は日本船籍の大型クルーズ船で、この日は神戸発のクルーズツアーの一環として、乗客320人と乗員225人を乗せて長浜に寄港しました。岸壁ではしぐれなどの地元銘菓に加えて柑橘類も販売され、お土産にしようと多くの人が商品に手を伸ばしていました。

にっぽん丸が来航したのは前回平成27年に同じようにクルーズツアーとして寄港して以来、8年ぶりとなります。

## 【キウイフルーツの彩りサラダ】



## 材料（4人分）

赤タマネギ	140g
キウイフルーツ	60g
ニンジン	40g
キュウリ	40g
砂糖	小さじ2
酢	小さじ2強
塩	小さじ1/3
オリーブオイル	小さじ1強
レモン汁	2g

A

## 作り方

- ① 赤タマネギは薄くスライスして、ボウルに入れて水に数分さらす。キュウリは千切りにする。
- ② ニンジンは千切りにして、茹でて水気を絞る。
- ③ キウイフルーツはいちょう切りにする。
- ④ ボウルでAを混ぜ合わせ、①・②とよくもみ合わせ、最後にキウイフルーツを入れて合わせる。

## キウイフルーツの栄養

大洲市の特産物であるキウイフルーツは、ビタミンCを多く含む果物です。ビタミンCは、抗酸化作用を持ち、ストレスや風邪などの病気に対する抵抗力を強める働きがあります。他にもビタミンE・葉酸・食物繊維など、体にとってうれしい栄養素がたっぷり含まれています。



【レシピ提供：健康増進課】

CDO補佐官 鈴木邦和の **DXのすゝめ**

第12回



いま全国の自治体で、水道事業の経営が厳しくなっています。給水人口が減少する一方で、老朽化した水道管の更新に多額の費用が掛かることから、多くの自治体で毎年の収支が赤字となっていて、このままでは水道水の供給を続けられないため、水道料金を値上げする自治体が相次いでいます。

そうした中で、最近注目を集めているのが、AIを活用した水道管の診断技術です。これまでは、老朽化した水道管について、一定の使用年数が過ぎたら更新していく方法が一般的でした。しかし、実際には、水道管が設置されている場所の土壌や道路の有無など、さまざまな要因によって劣化度は変わります。そこで、1000種類近くの複合的な要因をAIで分析し、それぞれの水道管の破損確率を計算することで、水道管をより効率的に更新する技術が最近になって普及してきました。

老朽化した水道管は全国で15万kmを超えており、その更新費用は今後約30年間で33兆円以上掛かると試算されています。今回紹介したような技術を活用することで、この更新費用を少しでも削減できれば、将来的な市民のみなさんの負担も抑えることができるかもしれません。デジタル技術はみなさんの見えにくいところでも、市民生活に貢献する可能性を秘めているのです。

## 文化財

神明神社のヒイラギ  
大洲市指定天然記念物  
神明神社所有



神明神社は、みょうがだに 肱川町名荷谷の正山地区にある神社です。この地域に住んでいた城戸氏が伊勢参りをした際、地元の上森山へ勧請した神社と伝わり、大正5（1916）年に現在の場所へ移設されました。

ヒイラギの幼木は、葉が鋸歯（葉の縁のノコギリ状の切れ込み）になるため、古くから魔除けとして用いられてきました。この木も、神社社殿の鬼門の方角（北東方向）に位置しており、魔除けとしての役割が期待されたと思われます。ただし、ヒイラギの老木は鋸歯を付けにくいという特徴があり、推定樹齢約300年を数えるこの木も、鋸歯はほとんど現れません。

全体的に均整のとれた樹形で、樹高約7.6m、幹周1.72mと市内のヒイラギとしては最大級です。



（平成28年5月30日指定）